

蕨 広報WARABI 3

2016/平成28年
わらび・779

- 平成28年3月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km²
- 2月1日現在人口：73,244人 前月比 -45人
男 37,274人 女 35,970人
世帯数：36,954
人口密度：14,333人/km²



ラグビー

誰もが安全に楽しめる新しいスタイルのラグビー。守備の際は、タックルの代わりに、腰に付けたビニール製のタグを取ると、相手の前進を止めることができると、身体接触を禁止しているのがその特徴です。



今日の先生は現役ラグーマン 心身鍛えるタグラグビー教室

2月2日、東小学校で「タグラグビー教室」が開かれました。ラグビートップリーグで活躍するNTTコミュニケーションズ・シャイニングアークスの選手11人による指導の下、3年生41人が校庭を駆け回りながら、スポーツの楽しさや仲間のたいせつさを学びました。

～今月の特集～

- 安全で安心して暮らせるまち・蕨



自助・共助・公助の連携で進める

安全で安心して暮らせるまち・蕨



▲避難所運営訓練(HUG)では、避難者の情報や要望を考慮し、避難所で起こりうる状況の理解と対応を学習(2月6日・市民体育館)



◀毎年、中央コミュニティ委員会が主催する「子ども防災ひろば119」は、親子で防災を学ぶ貴重な機会に(2月7日・中央東小学校)

3月11日。多くの尊い命が奪われた東日本大震災からまもなく5年がたちます。いつ起こるか分からない大規模災害に備えるには、震災の教訓を生かし、地域ぐるみで防災力の向上に努めることが重要です。今月は安全安心なまちづくりについてご紹介します。

「自助」・「共助」を後押し

今後30年以内に70%の確率で発生するといわれる首都直下地震。県地震被害想定調査では、蕨市を含む県南東部で震度6強の揺れが想定され、住宅の損壊やライフラインの途絶などが懸念されています。

このような大規模災害に備えるために、まず重要となるのが自分や家族の命を守る「自助」。お住まいの耐震化や、食料・生活用品等の備蓄、避難所の把握などです。そして、隣近所が助け合って地域を守る「共助」。市内全37町会にある自主防災会の活動や、地域の防災リーダーの養成を目的に開かれている災害図上訓練(DIG)や避難所運営訓練(HUG)などの取り組みです。市ではこうした「自助」「共助」を後押ししようと、今年度は高齢者世帯等への家具転

着実に前進!!

公共施設の耐震化

ここでは災害時の拠点となる各施設の耐震状況を紹介します。

26年度完了

公立保育園



旧耐震基準で設計された、さつき・みどり・さくら保育園で実施。学校施設に続き、耐震化率100%達成

25年度完了

小・中学校体育館



24・25年度に新耐震基準を満たす二中を除く9つの小・中学校体育館で耐震補強・大規模改修を実施

23年度完了

小・中学校校舎



子どもたちの安全を最優先に考え平成20年度から23年度にかけて20棟の小・中学校校舎で工事を実施

塚越小学校避難所運営訓練の様子をご紹介します (2月21日・参加者145人)

同訓練は「蕨市避難所運営マニュアル」に基づき、塚越5丁目～7丁目町会、塚越小学校教員・PTA役員、市職員を対象に、実際の避難所となる小学校で初めて実施されました。

想定…2月21日、午前8時半、東京湾北部地震が発生し、地震規模についてはマグニチュード7.3、蕨市では震度6強を観測。



参加者の声

たかはし よしたか
高橋 義貴さん
塚越7丁目・45歳

実際に体験しないと分からないことが多く、多数の避難者誘導や各担当者の所在把握、また、トイレの設置などが難しかったですね。こうした状況でも焦らず行動できるよう、日頃から住民間の連携を密にし、役割分担などを話し合っていきたいです。



世帯情報や家屋の被害状況などを避難者カードに記入し、避難者名簿として管理



校舎の防災教室から体育館へ資材を搬出。テントやシートなどで居住エリアを設定



市民公園の防災倉庫からバリアフリー対応トイレを搬送。体育館脇の校庭に設置



屋外で湯を沸かしアルファ米の炊き出しを実施。衛生管理の徹底で食中毒を予防



☑防災士に聞きました!!
身近な備えのたいせつさ

- 蕨防災士会・会長
- 埼玉県自主防災組織
リーダー養成指導員

やぐち ひろし
矢口 弘さん
塚越4丁目・62歳

災害に向けてまず求められるのが自助の取り組みです。家庭では水や食料を1週間分は備え、定期的に消費期限等を確認しましょう。また、家具の転倒を防ぐこともポイントの一つ。段ボール箱で家具と天井の間を埋めるだけでも一定の効果があります。そして、万一のときに迅速な行動をとれるよう、地域の防災訓練に参加するなど、日頃から防災への関心を持つことが重要です。

市民の安全安心を最優先
一方、市民の皆さんの命と財産を守ることを最優先に考え、「公助」として重点的に推進しているのが、公共施設の耐震化です(下段参照)。現在、昭和56年以前の旧耐震基準で

設計された建物の耐震化を計画的に進め、耐震化率100%を達成した学校施設と保育園に続き、今年度は東・南公民館で工事が完了。来年度は北町コミュニティ・センターの耐震補強・改修工事とともに、市民会館等の耐震設計を予定しています。また、地震への備えに役立てていただこうと、地震の揺れやすさや危険度などを示した「蕨市地震ハザードマップ」の改定にも取り組んでいます(来月号折り込み)。市では、今後も「自助」、「共助」、「公助」の連携を図りながら、安全で安心なまちづくりに全力を注いでいきます。

北町コミュニティ・センター
全面休館のお知らせ

耐震補強・改修工事(予定)に伴い、平成28年7月1日から29年6月30日まで、施設(市民体育館・北町公民館・北町児童館)が全面休館となります。なお、北町児童館は備品等の保管所となるため、4月1日から使用できません。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ = 北町公民館 (☎432・2225)

28年度
予定



来年度は北町コミュニティ・センターにおいて体育館アリーナ等を含めた耐震補強・改修工事を予定

公民館・市民体育館等

27年度
完了



25年度に東・西・南公民館で耐震診断を実施。診断結果に基づき、今年度に東・南公民館で着工し完了

26日(土)と4月2日(土)は

市役所窓口の一部が利用できます

開設時間＝午前8時半～正午



引っ越しが多くなるこの時期、平日、市役所へお越しただけにないかたにもご利用いただけるよう、26日と4月2日の土曜日に、市役所の窓口を一部開設します。平日と同様の取り扱いができないものもありますので、ご不明な点は、事前に担当課へご連絡ください。

開設窓口	取 扱 い 業 務	特記事項	
市民課(1階) ☎433・7751 ※マイナンバーカードの交付は地下1階 ☎430・7827	(異動、証明書関係) ●転入、転出、転居などの各種異動届出の受付 ●住民票に関する証明書の交付 ●印鑑登録、証明書の交付 ●戸籍の届出の受領 ●戸籍に関する証明書の交付 (国民年金関係) ●転入時の国民年金関係届(1号被保険者)の受付 ●国民年金の資格取得・喪失手続き ●申請免除・学生納付特例申請などの受付 (マイナンバー関係) ●通知カードの受け取り ●マイナンバーカード(個人番号カード)の交付(予約制) ※地下1階に特設会場を別途開設(右の特記事項参照)	○住民基本台帳の閲覧、住所の付定、広域交付の住民票の交付はできません ○戸籍の届出については、届書の受領のみとなります ○年金事務所閉庁のため資格取得・喪失手続きは、年金手帳・資格喪失証明書などを持参した場合に限ります。また、納付状況の問い合わせもできません ○3月～4月のマイナンバーカードの特設会場開設日/平日、12日・13日・26日・4月2日・10日・23日・30日(午前9時～午後5時)	
介護保険室(1階) ☎433・7835	●転入、転出などの異動に伴う介護保険の加入・脱退の手続き ●高齢者福祉サービスの申請受付	○要介護認定などの申請・相談業務はお取り扱いできません	
福祉総務課 障害者福祉係(1階) ☎433・7754	●転入、転出などの異動に伴う身体障害者手帳・療育手帳の変更・喪失手続き	○身体障害者手帳・療育手帳、障害福祉サービスなどの申請・相談業務はお取り扱いできません	
税務課(1階) ☎433・7749	●転入、転出などの異動に伴う各種税証明の交付 ●原動機付自転車の登録・廃車手続き		
医療保険課(2階)	国民健康保険担当 ☎433・7712	●転入、転出、転居などの異動に伴う課税内容の説明 ●国民健康保険の加入・脱退手続き ●被保険者証の再交付手続き	
	医療費給付係 ☎433・7736	●国保高齢受給者証 資格取得・喪失・変更届の受付 ●国保葬祭費・療養費などの支給申請の受付 ●国保人間・脳ドック、PET検診補助申請の受付	○保養施設の利用券の発行はできません
	長寿医療係 ☎433・7503	●後期高齢者医療 資格取得・喪失・変更届の受付 ●後期高齢者医療 葬祭費・療養費などの支給申請の受付 ●後期高齢者医療 人間・脳ドック、PET検診補助申請の受付	○後期高齢者医療被保険者証、受療証、各認定証、保養施設の利用券の発行はできません
児童福祉課(2階) ☎433・7757	●転入、転出、転居、出生などの異動に伴う、こども医療費、児童手当などの手続き	○保育園・留守家庭児童指導室関連の業務はお取り扱いできません	
納税推進室(2階) ☎433・7709	●通常業務を行います(市税・国民健康保険税の納税、納税相談、介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付など)		
学校教育課(1階) ☎433・7728	●転入、転出、転居に伴う転校、住所変更などの手続き ●転入、転出、転居に伴う区域外就学の手続き	○当日は、庁舎1階へ移動して業務を行います	

スガキの訪れを告げてく
れたりと、自然を身近に
ませてもらったり、ウグイ
バキなどの花が目を楽し
で、この季節はウメやツ
っていました。緑が豊か
したため、その面影が残
生け垣は既存の物を生か
私人邸宅があり、樹木や
この場所には和風建築の
本庭園でした。開園前、
があり、情趣に富んだ日
や敷石、右上の四阿など
園内には、写真中央の池
す。約1900平方メートル
和54年に撮影された物で
1丁目のわらび公園。
に生まれ変わった、北町
後、平成26年に新しい新
雨水調整池を地下に設置

語る人
浸水対策を目的とした
後、平成26年に新しい新
に生まれ変わった、北町
1丁目のわらび公園。
昔の写真は開園した昭
和54年に撮影された物で
す。約1900平方メートル
園内には、写真中央の池
や敷石、右上の四阿など
があり、情趣に富んだ日
本庭園でした。開園前、
この場所には和風建築の
私人邸宅があり、樹木や
生け垣は既存の物を生か
したため、その面影が残
っていました。緑が豊か
で、この季節はウメやツ
バキなどの花が目を楽し
ませてもらったり、ウグイ
スガキの訪れを告げてく
れたりと、自然を身近に



わらび公園
蕨
いま
むかし
- 326 -

情報ダイヤル

掲載は無料です
 図秘書広報課 (☎433・7703)

〔仲間になりませんか〕

▶**蕨北町サッカースポーツ少年団** 土・日曜日・祝日 北小学校 月1,500～2,000円(未就学児は年間1,000円) 年中～小学生<小泉・☎090・4948・5936>

▶**日本語ボランティアわらび中央** 火曜日=午後1時半 水曜日=午後2時 中央公民館 月200円<新保・☎090・1811・1636>

▶**和楽備ラジオ体操操練の会** 月・水・金曜日=午前6時15分 火・木曜日(男性のみ)=午前7時 城址公園<平田・☎090・3131・9399>

▶**南囲碁クラブ** 火曜日 午前9時半 南公民館 無料<井上・☎442・0259>
 ▶**ショパン(ピアノ)** 第1・3水曜日 午前9時 中央公民館 月2,500円 見学大歓迎<小田切・☎432・4518>

▶**竹紫館剣道教室** 3月の毎週土曜日 午前9時半 同館 満5歳以上<平田・☎080・5423・0023>

▶**蕨警察署少年剣道教室** 火・木曜日 午後6時 同署 小・中学生<同署生活安全課・澤野・☎444・0110>

〔参加しませんか〕

▶**大人のための英会話&韓国語市民講座** 16日～5月25日 水曜日 全10回 市民会館 英会話=午後6時 韓国語=7時半 各18人(先着順) 各1万円 挨拶から簡単な日常会話<国際文化交流協会・前田・☎090・6489・2803>

▶**「古都鎌倉洋館巡り」参加者説明会** 26日 時間等は電話確認<日帰り旅倶楽部・岩本・☎090・3431・4295>

▶**寺子屋パザパ「ホットフラ体験」** 27日 午前11時 1,500円 会場は電話確認<杉岡・☎090・1774・3971>

▶**セビア・火曜会ダンスパーティー** 15日・25日 午後1時15分 くるる 600円<貫井・☎080・5401・1753>

▶**ダンスパーティー** 10日・24日・30日 午後1時 くるる 499円<犬塚・☎441・7373>

〔ご相談ください〕

▶**蕨断酒会(酒害相談)** 1日=中央公民館 11日=南公民館 17日=旭町公民館 午後7時 語り合いの場<円浄・☎090・2522・8688>

まちの話題

毎年好評を博している市立図書館の「新春図書館寄席」が1月30日に開催されました。高座に上がったのは、今回で10回目の出演となる落語家の三遊亭鳳志さん。「夢金」や「時そば」などを巧みな話芸で披露すると、124人が訪れた会場は笑いの渦に包まれていました。

笑い広がる図書館寄席



市内で教員をしていた皆さんを講師に、2月1日、南小学校で「たぬきの糸車体験」が開かれました。参加したのは国語の授業で糸車の話を学んでいる1年生84人。綿花が織物になる過程を肌で感じた児童たちは、物語に登場するたぬきよりも上手に糸を紡げたようです。

楽しみながら糸車体験



地域で創業を目指す「わらび創業講座」の受講生13人が、蕨駅西口駅前通りで先月8日から今月6日までチャレンジショップを運営中です。2月9日には、来店した親子6組がミシンを使って、だっこひものカバー作りに挑戦。簡単でおしゃれな出来栄が好評でした。

創業に向けた第一歩に



2月14日、中央小学校で「第22回わらび郷土かるた大会」が開催されました。参加した市内の小中学生285人は低学年と高学年に分かれ、まちの魅力や歴史などが描かれた絵札を前に3人1チームで熱戦を展開。交流の輪を広げながら、郷土への愛着を深めていました。

白熱! かるた大会開催



西小学校では、同校卒業生から寄贈されたビッグフラッグ(縦12・3メートル×横24メートル)への寄せ書きが、6年生の恒例行事となっています。10年間行われるこの催しは今年で6回目。2月16日には、児童75人が将来の夢や感謝の言葉などを、思い思いに書き込んでいました。

大旗に夢を託す西小生



感じられたものです。また、開園時間が設けられ、管理人のかたが門の開け閉めをしていましたね。
今の写真は再整備後の現在の様子です。中央に芝生が広がる園内は明るく開放的で、多くの人が足を運ぶ地域の憩いの場として親しまれています。

子育てを応援します ご参加ください 児童館の乳幼児クラブ

趣向を凝らした遊びや季節の行事での触れ合いなどを通じて子育てを支援しようと、毎月、各児童館で開催されている乳幼児クラブ。年齢の近いお子さんどうしの交流はもちろん、子育てパパ・ママの情報交換の場としても、ぜひご利用ください。



親と子の
ニュースの
小窓

身近な児童館で年齢別のクラブを実施

お母さん A子さんとお母さん、こんにちは。お出かけですか？

A子さん 児童館の乳幼児クラブについて、話を聞きに行こうと思って。

ワラビ 児童館で遊ぼうと思っただけで、話から、いっしょに行こうよ。

職員 こんにちは。皆さんおそろいですね。皆さんお母さん、はい。ところで、乳幼児クラブについて教えてもらえますか。

職員 乳幼児子育て支援事業のことですね。各児童館に年齢別のクラブがあるのはご存じですか？

お母さん たしか、『まめっこ』などと呼ばれているクラブのことよね。

職員 はい。8か月未満、1歳から2歳までなどの年齢別に分けています。

A子さん 月齢などでのものの状況が変わってくるので、細かく分けてもらえるのがあるがたいわ。

お母さん 年齢の近い子どもたちはもちろん、ママどうしのつながりが出るのもいいわね。

職員 そうですね。お母さん、節分やひな祭りなどの季節の催しや、子どもたちのお誕生会を楽しんだのも、よい思い出になっているわ。

職員 ありがとうございます。担当職員は児童厚生員の有資格者なので、お子さんとの遊びはもちろん、育児相談などいつでもお受けできます。

お母さん 4月からもクラブは実施されますよね。

職員 各施設で行います（下囲み参照）。なお、耐震工事を予定する、北町児童館は募集がありません。

ワラビ そうなんだ。

職員 ご迷惑をおかけしますが、同館から近い福祉・児童センターや錦町児童館をご利用ください。

お母さん 分かりました。

職員 ぜひ、気軽に足を運んでくださいね。

職員 ぜひ、気軽に足を運んでくださいね。

職員 ぜひ、気軽に足を運んでくださいね。

職員 ぜひ、気軽に足を運んでくださいね。

職員 ぜひ、気軽に足を運んでくださいね。

職員 ぜひ、気軽に足を運んでくださいね。



みんなおいでよ！ 市内4施設の 平成28年度 乳幼児子育て支援事業



楽しい手遊びで、子どもたちは自然と笑顔に(2月5日 福祉・児童センター)



どきどきわくわく！お友達との触れ合いが広がります(2月8日 南町児童館)



この日はママとおもちゃ作り。なにが出来たのかな?(2月12日 塚越児童館)



クラブでは、ママどうしの交流も深まっています(2月17日 錦町児童館)

【各施設の開催日】

対象 児童館	まめっこクラブ		とことこクラブ	ちびっこクラブ	のびっこクラブ	
	A(8か月未満の子)	B(8か月以上の子)	平成26年4月2日～27年4月1日生まれの子	平成25年4月2日～26年4月1日生まれの子	平成24年4月2日～25年4月1日生まれの子	
錦町児童館(錦町2-15-23)	水曜日(月1回)	水曜日(月1回)	木曜日(月1回)	金曜日(月1回)		
南町児童館(南町2-21-2)	第2火曜日		第3火曜日	第3木曜日		
塚越児童館(塚越2-11-8)	金曜日(月1回)	金曜日(月1回)	木曜日(月1回)	水曜日(月1回)		
福祉・児童センター(中央4-9-22)	A(6か月未満の子)	B(10か月未満の子)	C(1歳の子)	金曜日(月1回)	木曜日(月1回)	水曜日(月1回)
	金曜日(月1回)	金曜日(月1回)				

いずれも午前10時半 申し込み=22日から直接各児童館(随時受付)
※耐震補強・改修工事(予定)に伴い、北町児童館はご利用いただけません。
※今月の催しについては、お知らせ版5頁をご参照ください。

自助・共助・公助の連携で
災害に強いまちづくり

市長 頼高英雄



東日本大震災から、5年を迎えようとしています。幸い蕨市では、これまで大きな災害に直面していませんが、現在、首都直下地震が懸念される中、防災対策を最重点課題とし、災害に強いまちづくりを進めています。先月には塚越小で町会やPTA、学校と連携し、実際の災害を想定した避難所運営訓練を初めて実施しました。参加者からは備蓄品の運搬の大変さ

や仮設トイレの設置の難しさが分かったとの声があるなど、大変有意義な訓練となりました。ひとたび大災害が起きると、行政の力だけでなく、自らの身を自らで守る力や地域の助け合いの力が重要になります。私自身も21年前、阪神・淡路大震災の被災地へボランティアで訪れた際、避難所に地元のリーダーが存在するかしないかで避難スペースの区割りや食料の配給などの運営に大きな差があることを実感しました。今後も蕨の豊かな地域力を防災面で発揮いただけるよう、自主防災会への支援を強化するとともに、公共施設の耐震化の推進など、自助・共助・公助の連携による防災都市づくりを進めていきます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は10日です。4月は7日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へご連絡を。



子どもクラブ 蕨ミニバスケットボールクラブ

1月に開かれた県内最大規模のミニバスケットの大会、「トーナメント大会」。理事長杯Cグループ(男子52団体、女子39団体が出場)では、蕨ミニバスケットボールクラブの男子が優勝、女子が3位入賞を果たしました。小学校の垣根を越えて築いたチームワークを武器に、主力として活躍したのが6年生18人です。「今まで悔しい試合もいっぱいあったけど、全部忘れるくらいうれしい」と、集大成となったトロフィーに負けないくらい、輝く思い出ができたようですね。

わが家のアイドル

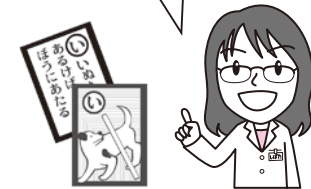


はやた 隼汰ちゃん (1歳8か月)

いがらし げんたさん 五十嵐 元太さん 絵梨香さんの三男 塚越4丁目

「音楽が聴こえてくると、どんな曲でも踊り始める隼汰。私もダンスをしていたので、やっばり似ているんでしょうね。そんな隼汰は、泣いている友達の頭を『いい子いい子』と、なでてあげるなど、優しい一面も持つています。でも、家族の前ではとつても甘えん坊。2人の兄にくつついて、公園を駆け回っています。隼汰が生まれて、わが家がいっそうにぎやかになりました。これからも笑って過ごそうね」と目を細める父親の元太さん。

かるた DE ヘルスケア 総集編 No.3



蕨市立病院 柴田 優子 医師

私の心と体の健康維持③ 教科書どおりのことを並べるよりも、好きなことを見つけて、キラキラする自分を想像してみませんか。そんなすてきな

時間が老化に逆らう上でいちばんたいせつなのは、興味に邁進する人、子どもや孫、有名人など誰かに夢中になる人。人によってそれぞれですが、自分にとって集中できて楽しめる「なにか」を見つけて、続けていくことが、アンチエイジングなのです。本連載も、今月で最終回となりました。ご愛読くださった皆さまに感謝を申し上げます。柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



「音楽でまちを盛り上げたいです」と、野口さん

輝いています

ピアニスト

ひと

のぐち さき
野口 咲さん

春風に乗せて心に響く旋律を

軽

やかな指さばきと豊かな表現力で鍵盤から優しい旋律を紡ぎ出す、ピアニストの野口咲さん(23歳・塚越1丁目)。今月26日に出演する下蔵公民館の「さくらコンサート」(お知らせ版8頁)を「地元蔵での初演奏が楽しみです」と心待ちにしています。

幼い頃からピアノに親しみ、東中から音大付属高、音大へと進み、国内のコンクールで入賞を果たすなど技術を磨いてきた野口さん。地域と関わるようになったのは大学4年生の頃でした。当時将来を模索していた野口さんは、その糸口になればと、市の「音楽によるまちづくり懇談会」の委員に応募。市内の音楽家など15人と音楽を通じたまちづくりの方向性を話し合いました。最年少の委員で、当初は緊張の連続だったそうですが、日頃から描いていた「音楽を聴いたり体験できたりする機会や演奏できる場所がもつとあればすてきな」という思いを伝えていった野口さん。そうした半年間に及ぶ懇談会を通じて、「皆さんの音楽への情熱に刺激を受けました」と、いっそうピアノと向き合えるように。現在は生徒へ指導を行う傍らで、自らも研鑽を積み、敬愛する作曲家・ドビュッシーの母国フランスへ留学を計画中です。「作曲家が楽譜に込めた感情を読み取る力、表現する力を更に磨いて、人の心を動かせる演奏家になりたいです」と決意を語ります。

メッセージ



星野 美恵子 代表

機織り通じて織り成す まちの文化と交流の輪

「はたごっこ」は双子織のまちとして栄えた蔵の文化を伝えようと4年前に結成した団体です。下蔵公民館での織物講座をきっかけに、受講者の有志が活動を始めました。現在は、16人の会員が歴史民俗資料館分館で月2回(第1・3水曜日 午後1時)、長年機屋を営んでいた吉田金造さんの指導の下、糸の染色や機織り、作品作りに取り組んでいます。完成までには手間暇

紹介します! 皆さんの市民活動

キラリ!! みんなの力

～はたごっこ～



織機や糸線機を囲み笑顔を見せる皆さん

このコラムでは、わらびネットワークステーション(☎45・7256)の市民活動登録団体を紹介しています。

がかかる上に、一人ひとりの織り加減が違い、同じ物は作れず全て一点物です。これらの作品は多くの方が来場する宿場まつりで展示をしています。更には、織機に触れ、関心を抱いてもらおうと、機まつりや中央地区生涯学習フェスティバル、小学校の授業などで機織り体験も行っています。こうした機会ではやりがいを感じるとともに、特に子どもたちの笑顔が活動の励みになっています。今後は、技術を養い、蔵の伝統織物・双子織に挑戦することも目標です。興味のあるかたは星野(☎090・4361・1677)までお問い合わせください。